

CABLIN[®]-CA IIF

Part No.20856-0**T-01

Instruction Manual

Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by
1	S20671	April 16, 2021	R.Fukuda	M.Muro	H.Ikari
0	S17632	November 13, 2017	Y.Sasa	T.Masunaga	H.Ikari

弊社、CABLINE-CA IIF CONN.の取り扱いに際して、本コネクタを安全に御使用頂くことを目的とし、コネクタの挿入・抜去の
手順及び注意点を記述致します。

【対象コネクタ名称・型番】

◆プラグコネクタ

名称 : CABLINE-CA IIF SHELL ASS'Y

型番 : 20856-0**T-01

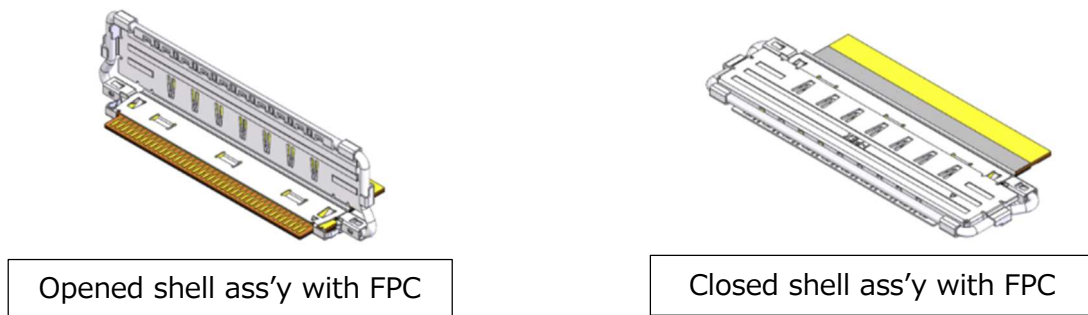


図 1

◆基板側コネクタ

名称 : CABLINE-CA II RECEPTACLE

型番 : 20682-0**E-0※

1: With Boss

2: Without Boss

“**”には各芯数番号が入ります。

“※”はバリエーションになります。詳細は図面を参照願います。

【コネクタ各部名称】

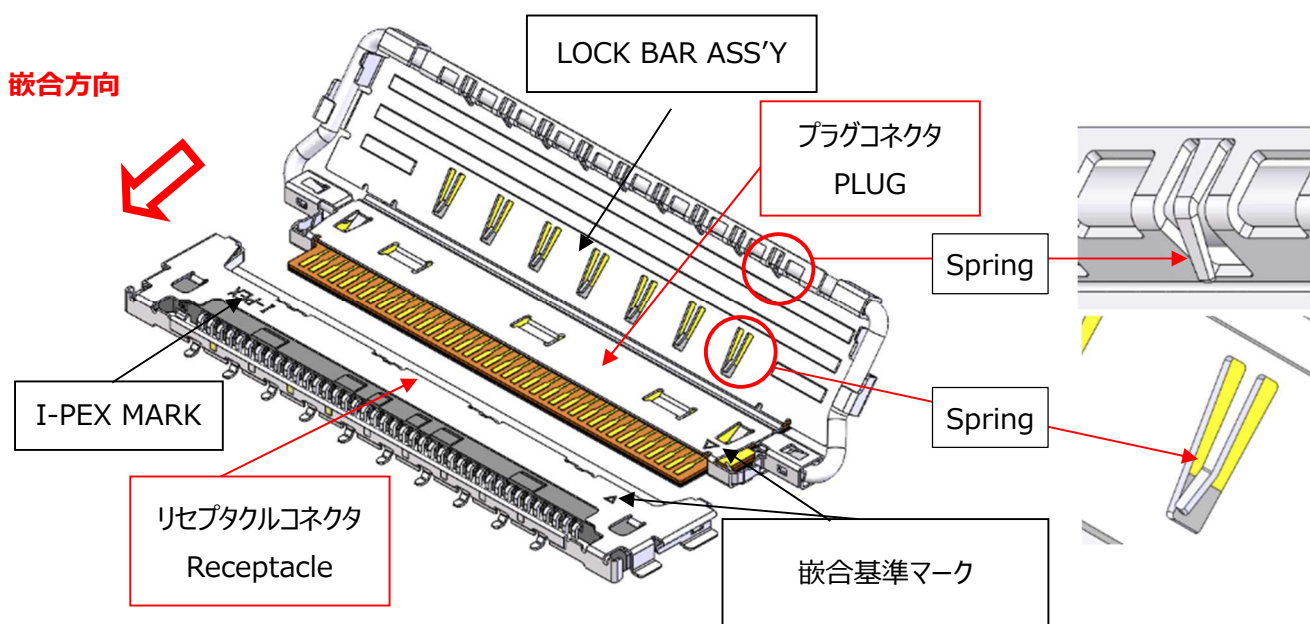


図 2

【コネクタ挿入手順】

① 図 3 の様に、リセプタクルコネクタの基準ピンマークにプラグコネクタの基準ピンマークがくる様にセットする。

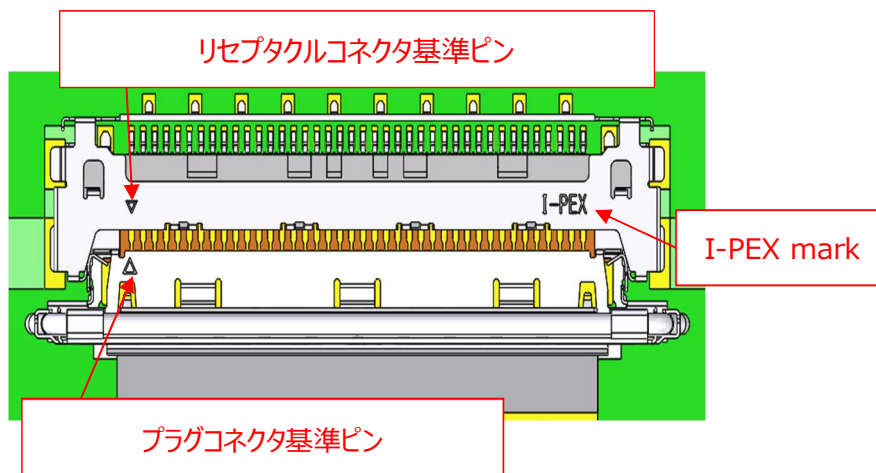


図 3

② 水平方向の挿入角度は 5° 以内(図 4)、垂直方向の挿入角度は 8° 以内(図 5)とし、PLUG がコネクタに対しまっすぐになるまでは挿入方向に過度な荷重は加えずに仮挿入を行う。

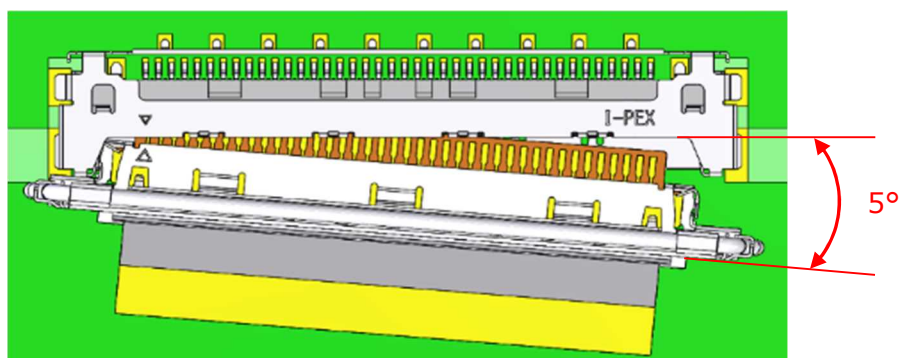


図 4 水平方向 挿入角度

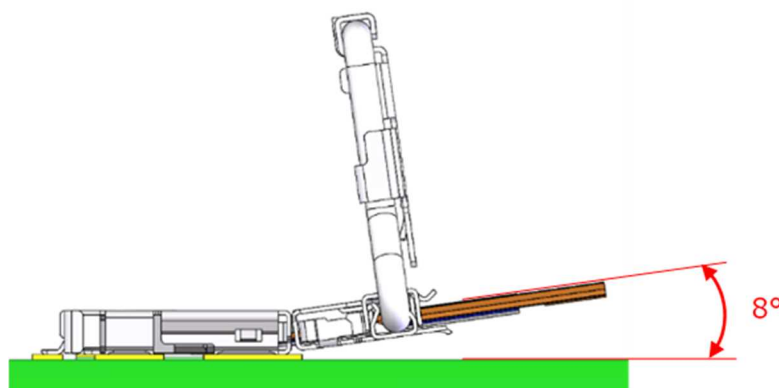


図 5 垂直方向 挿入角度

③図 6 の様に、プラグコネクタの両側を水平に押し、隙間が無いかを確認する。

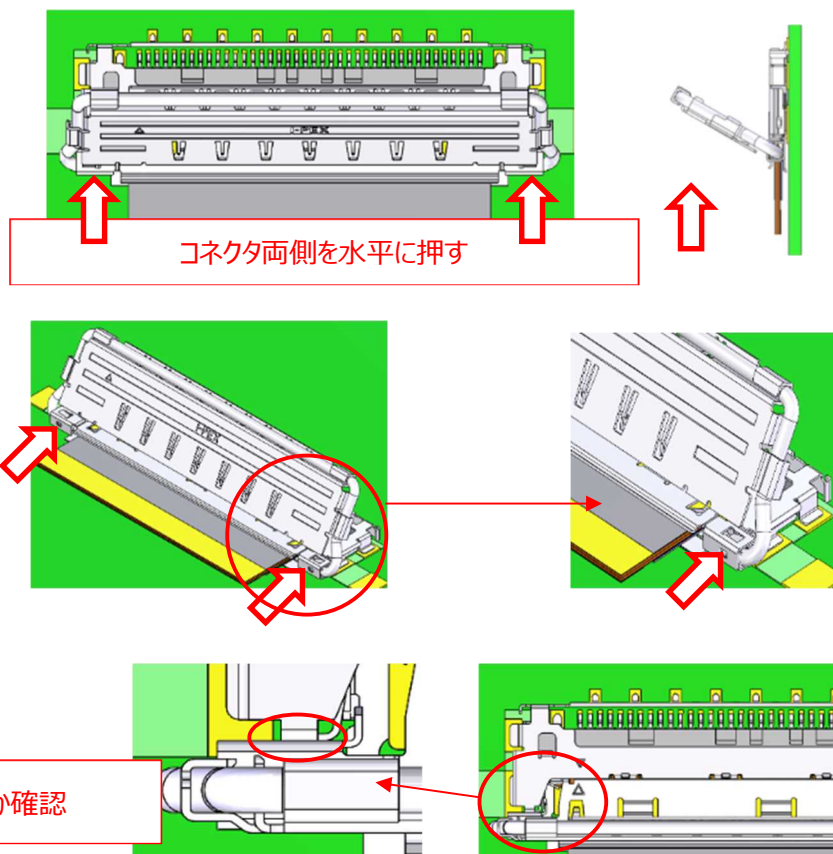


図 6

<注 1>

プラグコネクタの両側を水平に押して挿入してください。

片側ずつ押すと、図 7 の様に嵌合不完全になる恐れがあります。

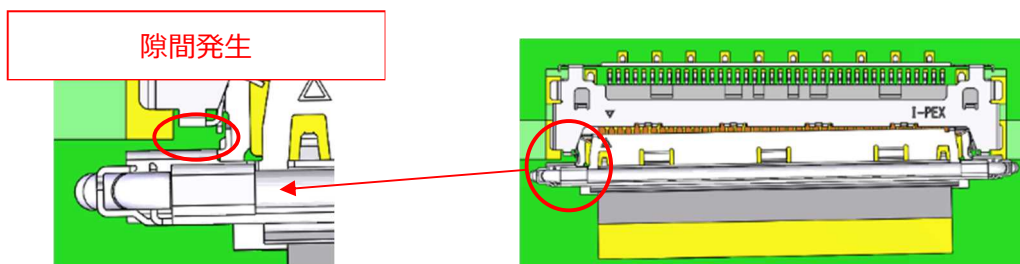
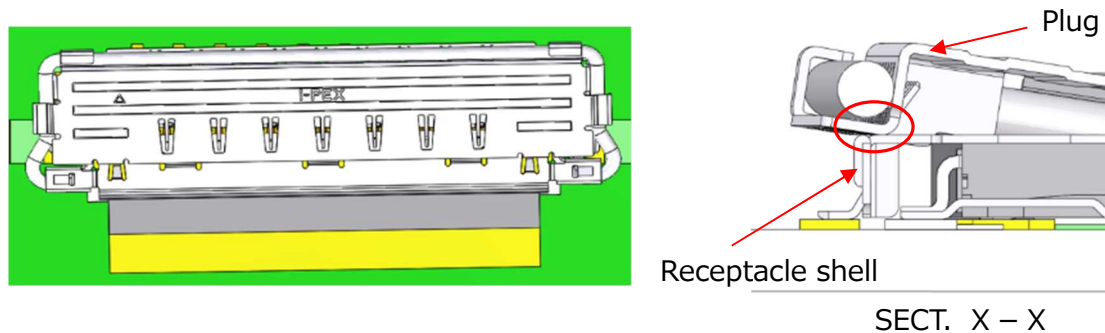


図 7

隙間が開いた状態で Cover を閉めると Cover とリセプタクルの Shell が干渉し、コネクタが変形する恐れがあります。



SECT. X - X

図 8

<注 2>

リセプタクルの Shell に設けてある挿入ガイドに沿って挿入してください。
ガイドに沿って挿入すれば、コネクタの変形は発生しません。

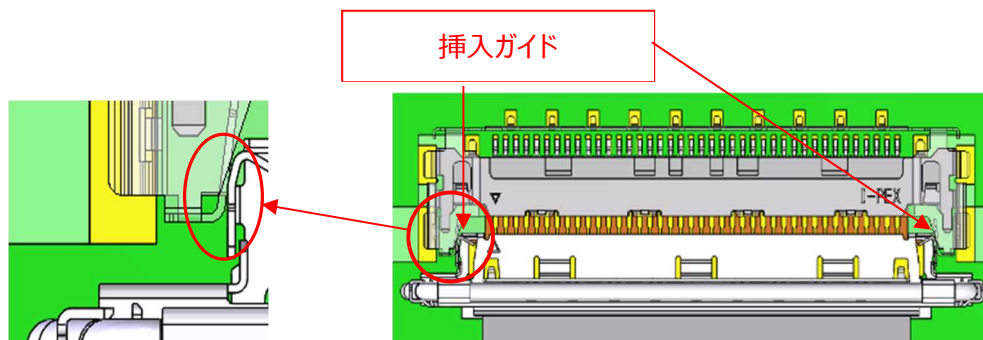


図 9

<注 3>

挿入時の水平方向のこじり角度は、5°以下でお願い致します。
5°以上こじった状態で奥まで挿入すると、コネクタ損傷の原因となります。

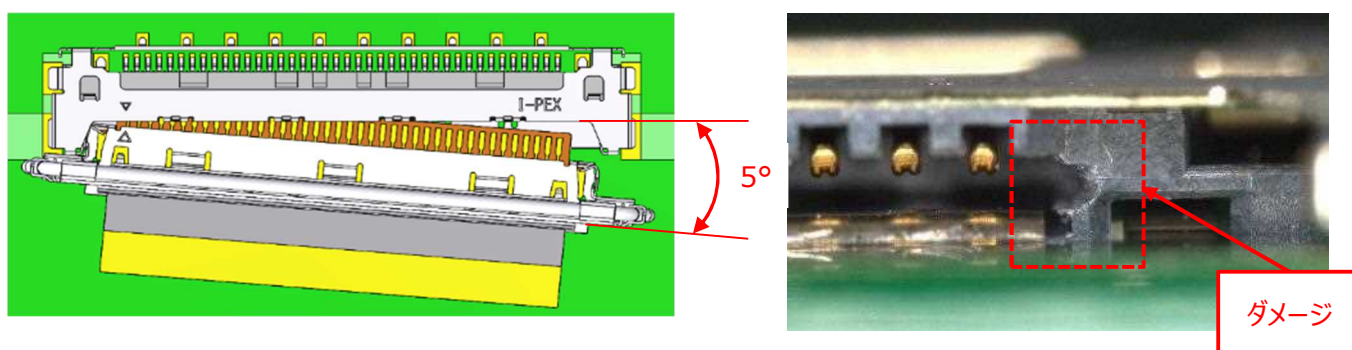


図 10

<注 4>

Lock Bar ass'y を開き過ぎると Cover と FPC が干渉し FPC にダメージを与える
可能性がありますのでそれ以上押し込まないようにして下さい。

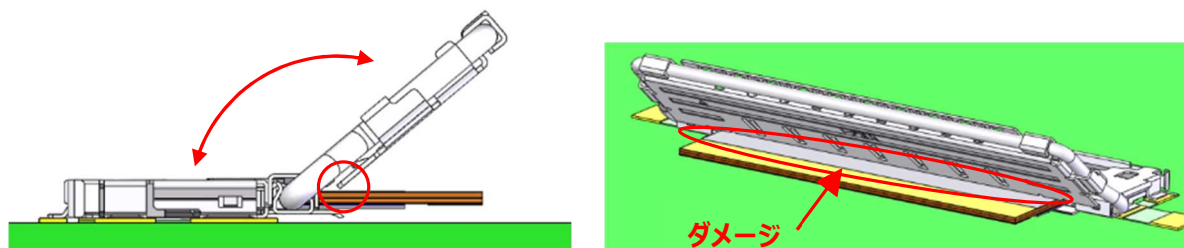


図 11

<注 5>

挿入開始時の垂直方向のこじり角度は、8°以下でお願いします。
8°以上こじった状態で奥まで挿入すると、コネクタ変形の原因となります。

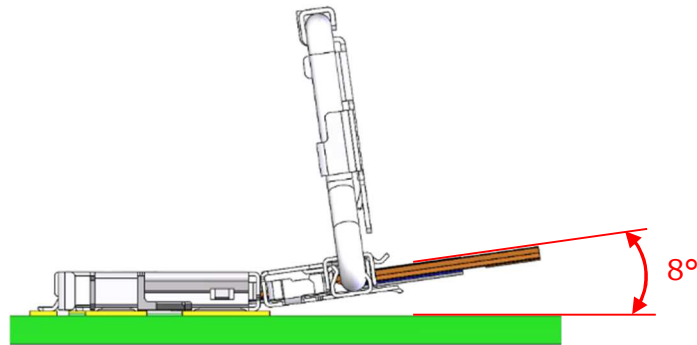


図 12

<注 6>

Lock bar ass'y を操作しての挿入は行わないでください。Lock bar ass'y の変形及びコネクタ破損の原因となります。

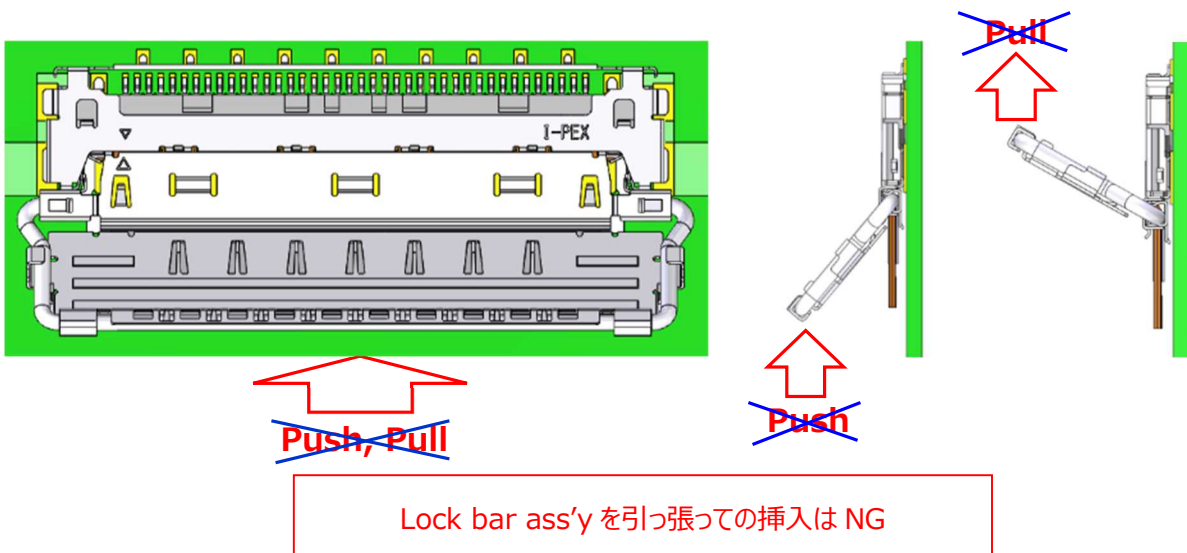


図 13

<注 7>

プラグコネクタに基板方向の力を掛けながらの挿入は行わないでください。
基板に傷が入り、パターンの断線及びショートの原因となります。



図 14

④Cover の図 15○部を基板側へ押し込み、リセプタクルコネクタの SHELL と Lock Bar をロックさせる。

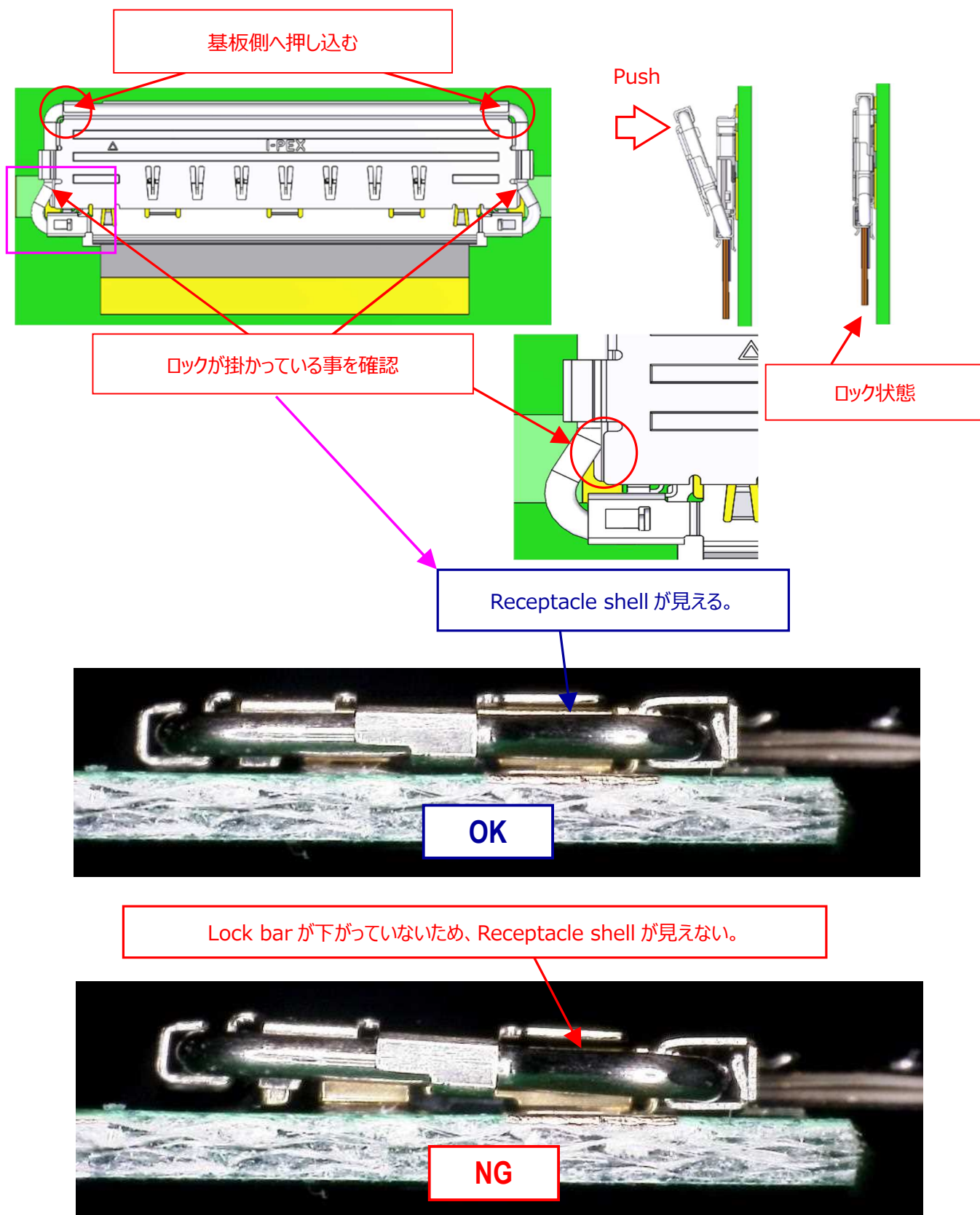


図 15

【コネクタ抜去手順】

- ① Lock bar の下図○部を反基板側へ引っ張ってリセプタクルコネクタとのロックを解除し、Lock bar ass'y を回転させる。

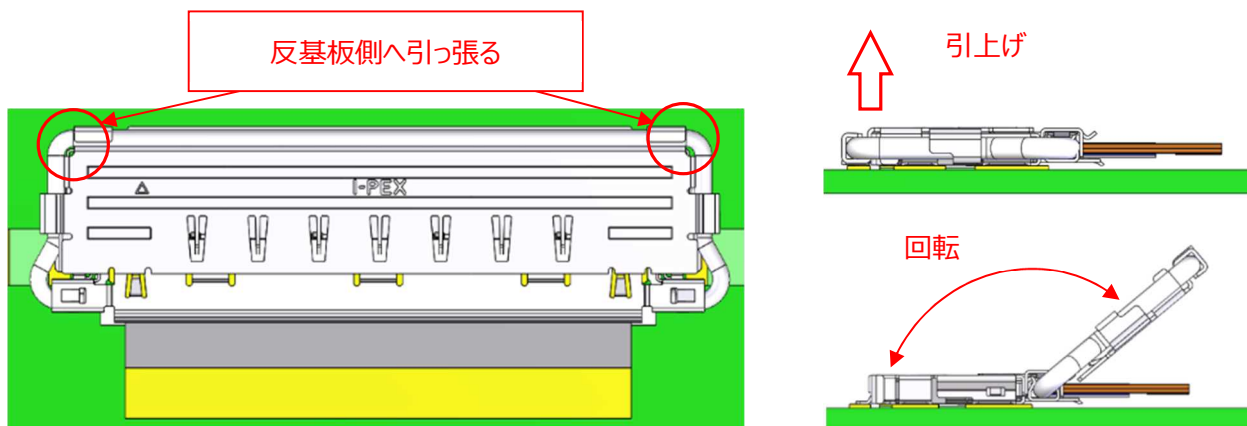


図 16

<注 8>

Lock bar ass'y の中央部を引き上げてのリセプタクルコネクタとのロック解除は行わないでください。
Lock bar ass'y の変形及びコネクタ破損の原因となります。

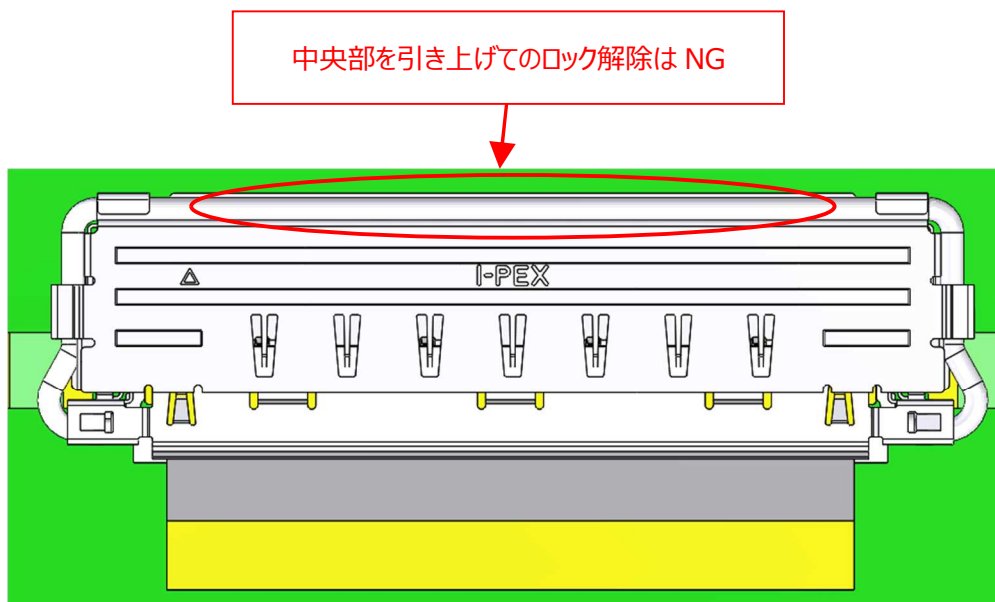


図 17

②図 18 の様に、プラグコネクタの両側を水平に引っ張り、抜去を行う。

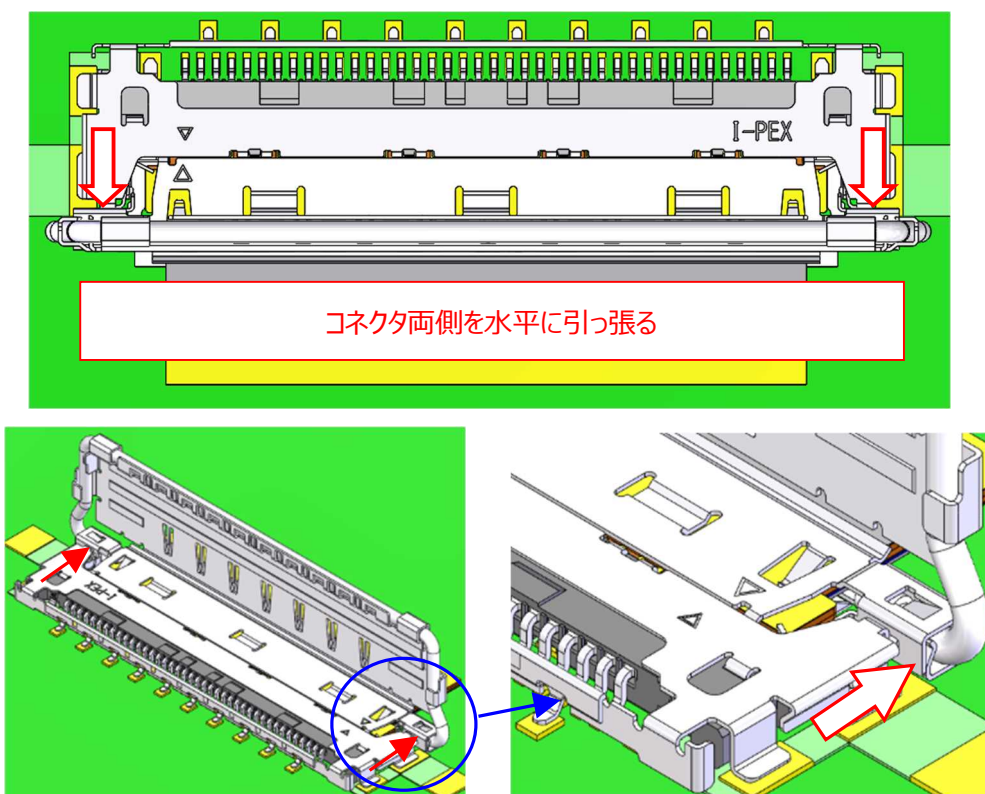


図 18

<注 9>

抜去時の水平方向のこじり角度は、5°以下でお願い致します。

5°以上での抜去は、コネクタ変形の原因となります。

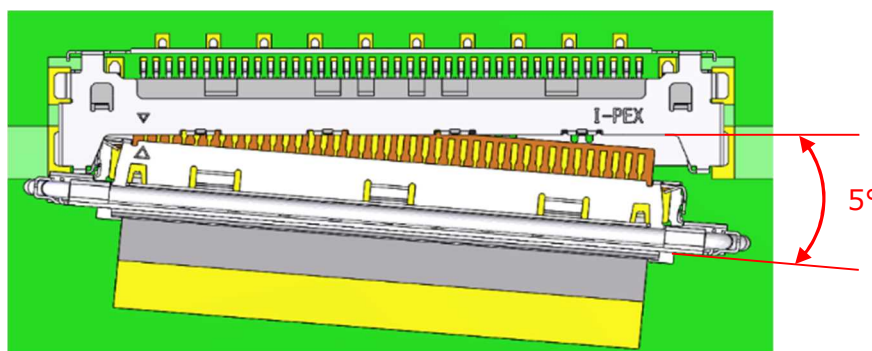


図 19

<注 10>

Lock bar ass'y を操作しての抜去は行わないでください。Lock bar ass'y の変形及びコネクタ破損の原因となります。

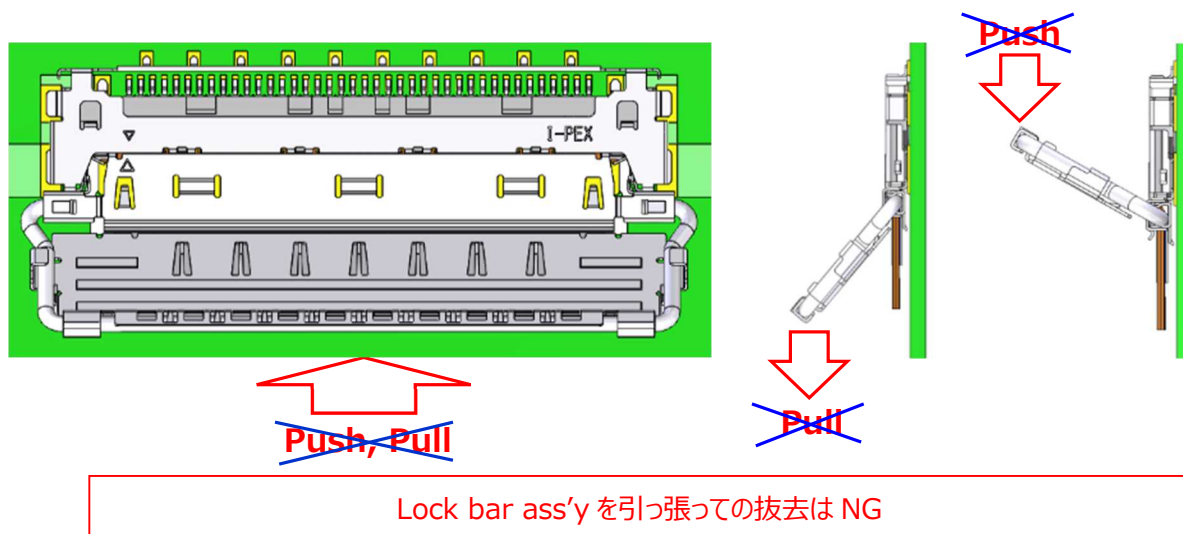


図 20

<注 11>

プラグコネクタに基板方向の力を掛けながらの抜去は行わないでください。基板に傷が入り、パターンの断線及びショートの原因となります。

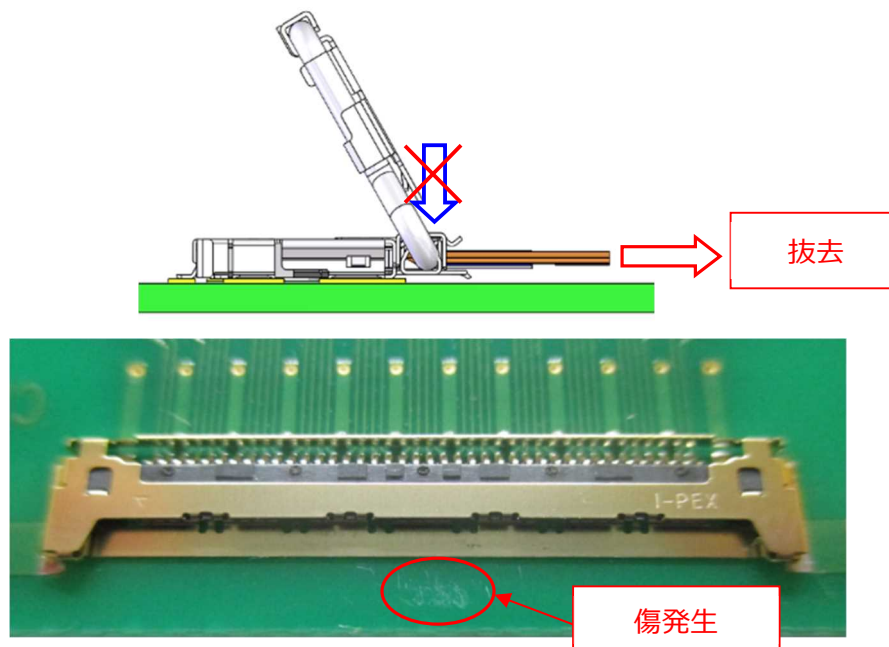


図 21

【コネクタ取り扱いにおける注意事項】

- ①コネクタ嵌合状態にて、プラグコネクタの FPC 及び Lock bar ass'y を垂直方向に引っ張らないでください。リセプタクルコネクタの変形の原因となります。

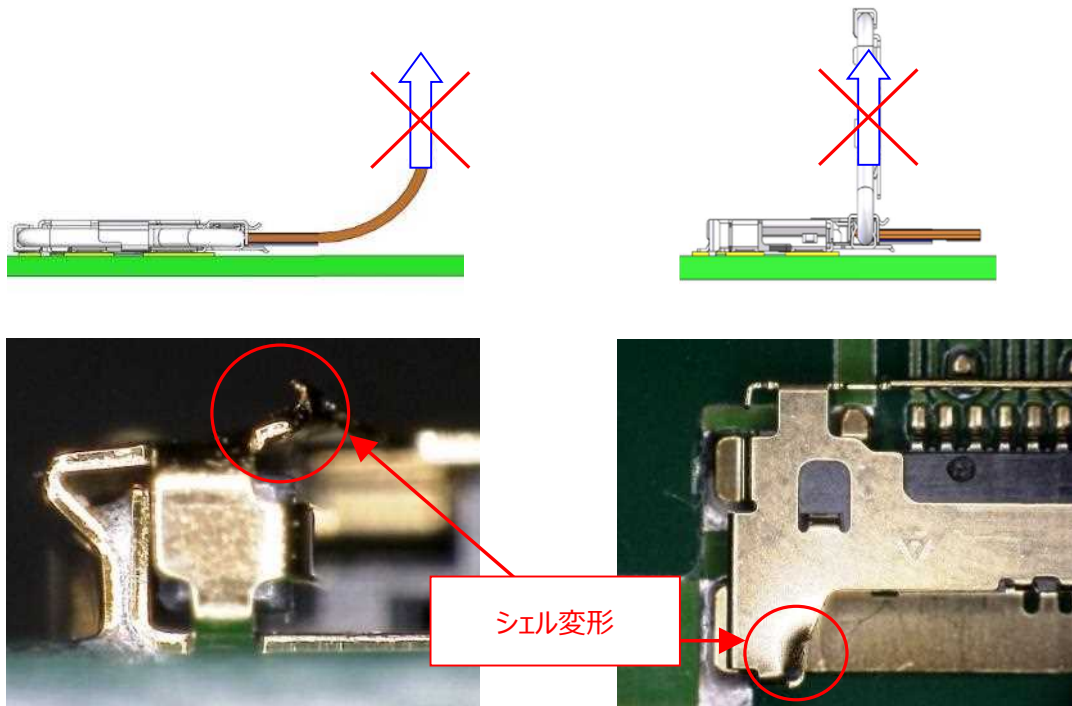


図 22

- ② FPC 引き回しの際は、コネクタ及び FPC に過大な力が掛からない様、ご注意ください。
コネクタ破損及び FPC 断線の原因となります。
- ③ 常にコネクタに力が掛かるようなケーブル引き回しは、ご遠慮願います。
嵌合不良及びコネクタ破損の原因となります。